

支援チーム通信 第3号

千葉県不登校児童生徒支援チーム



○ 2回目の緊急事態宣言、その影響

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発出されました。学校生活を送る子どもたちにも、様々な影響を与えることになるのではないのでしょうか。

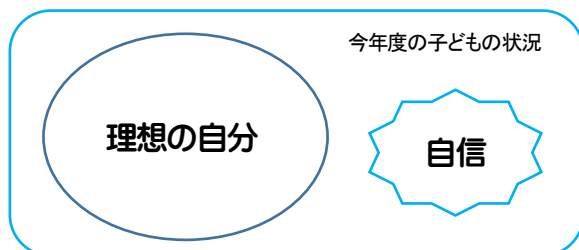
子どもの内面

- ・「5月までのような、自由に外出できないストレスのある生活に戻ってしまった」
- ・「(自分の好きな活動が制限されてしまい)学校生活が楽しくない」
- ・「クラスターのニュースが心配だ(いつ、感染してしまうのか?)」



○ 年度末までに、子どもが「自信」を持てる小さな経験を!

今年度は、子ども自身に取り組んで充実感を持てる活動が限られています(学校行事、行事に向けての担当・係、部活動など)。活動する中で「頑張ったね」と認められると、少しずつ自信を持って、次の活動にも取り組む元気が出るはずなのに、挑戦する機会が少ないと、「こんな姿だったらいい」といった理想の自分の姿と、実際の自分がかけ離れてしまっているかもしれません。また、気分が沈んだまま、ネット上でゲームや興味のあることに浸ることも増えていると思います。



大きなイベントがなくても、子どもが「やってよかった!」と思える活動があると、小さな達成感を得ることができます。例年通りの学校行事は開けなくても、一人ひとりの言葉や作品を集めて掲示すると、「自分も参加できた」と実感を持てると思います。

忙しい大人の手伝いをして役に立つ経験も、「自信」を持つきっかけになりそうです。家庭でも、「これは、あなたの役割」と決めて、やり方は子どもに任せ、続けることを支えていただきたいと思います。“ありがとう” “よくやったね” の言葉で、子どもの自信をふくらませてください。

